

菅波茂氏が代表を務める国連NGO「AMDAグループ」は、緊急援助活動と地域開発活動を軸に世界各国のニーズに応じて活動している。

活動の軸の一つである緊急救援活動では、災害や紛争で医療支援の届きにくい地域で医療活動を行っている。被災地に近いAMDA海外支部と日本からの医療チームで多国籍医師団を編成しての活動は、言葉や生活習慣、文化の違い対象への素早い確な救援を実現している。最近では、2008年5月四川省で発生した大地震による甚大な被害に対し、AMDA台湾支部と日本の本部が基軸となり、四川省内の医師、看護師に協力を得て、地震発生の翌日には緊急医療チームを編成し、迅速に緊急医療支援活動を行った。同時に医療機器や医薬品の提供も被災地のニーズを最優先したことで高く評価された。

また、もう一つの軸である地域開発活動では、支援対象の人々が自立できる目処が立つまで継続して長期間支援を行うプロジェクトを実施している。

一例では、ザンビアでのコミュニティ開発支援プロジェクト、結核患者を対象とした治療プログラム、ネパール子ども病院プロジェクト、バングラデシュの職業訓練プロジェクト、ホンジュラスでのエイズ予防教育プロジェクトなど、現在、アジア、アフリカ、中南米など11カ国で社会的弱者を支援し、生活環境を向上させるプロジェクトを展開している。

「多様性の共存」を理想とし、「困った時はお互いさま」という相互扶助精神に基づいて国際人道支援活動を実施。常に活動地の人々の声に耳を傾けながら、協力し合って活動を行っています。

救える命があれば
どこへでも



2007年1月ザンビア視察

すがなみ しげる
菅波 茂 AMDA グループ 代表



1946年、広島県生まれ。岡山大学医学部在学中にアジアを10カ月間旅し、海外での医療に関心を抱く。1981年に内科医院を開業。1984年に国際医療ボランティア団体AMDA設立。災害や紛争で医療支援の行き届きにくい地域で緊急援助活動と支援対象者の自立をサポートしている。2008年5月の四川省で発生した大地震でも活躍。すでに約50カ国で支援してきた。

推薦者 **逢沢 一郎** 衆議院議員



■2007年11月第20回AMDA国際会議ニューデリーにて



■2007年11月プラティバ・デヴィシン・パティルインド大統領と

そして、災害や紛争、貧困など様々なファクターで人間疎外の状況に暮らす人々たちへのこうしたアプローチは、人間の安全保障へも大きく寄与するものと期待されている。